

## 前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：06 安全で強靱な水道の持続

施 策：02 強靱な水道の整備と維持

**施策担当職・氏名** 水道整備課総括主査 長谷川 唯倫

### 1. 施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 施策の内容

老朽化していく施設の更新により、平常時に事故が発生しないように施設の健全度が保たれ、また水道施設の耐震化やバックアップ体制を構築することにより、災害等による水道施設の被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても迅速に復旧できる水道の構築を目指します。

#### (2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 %	8.1	7.4	7.2	7	6.8	6.8	D	
			8.9	9.4	8.7	7.7	7.7	30.8	
2	幸 福 単 位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77	D	
			72.3	78.3	74.6	69.2	69.2	△178.6	
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	5212 配水管整備事業 管路耐震化率（導・送水管を除く） 単 位 %	目標値	22	23	24	25	26	27
		実績	22.5	23.7	24.8	32.1	-	-
2	5215 漏水対策事業 漏水率 単 位 %	目標値	4.5	7.3	7.5	6.8	6.6	6.3
		実績	8.9	9.4	8.7	7.7	-	-
3	10139 簡易水道整備事業 施設整備事業進捗率 単 位 %	目標値	67.6	95	100	0	0	0
		実績	56	97	0	0	-	-
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

## 前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 06 安全で強靱な水道の持続

施 策 : 02 強靱な水道の整備と維持

施策担当職・氏名 水道整備課総括主査 長谷川 唯倫

## 2. 施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
経年管更新及び新設配水管には、耐震管を布設し、災害に強い管路を整備しました。	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

【重点課題】 管路施設の強靱化を図るために、老朽管更新事業と配水管整備事業を実施します。	
【重点課題に対する達成状況】 管路施設の強靱化を図るために、老朽管更新事業と配水管整備事業を実施しました。 管路耐震化率は、目標値を達成していますが、漏水率は達成していません。	

## 3. 施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
当施策に影響する社会環境変化はありません。	

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
基本施策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。	

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 年々経年管が増加し、漏水の可能性が高くなるので、アセットマネジメントによる管路更新計画と同時に配水管等の幹線・支線や重要度の位置づけを行い、整備の優先順位を決定していきます。	
【引継課題】 整備の優先順位を決め、順次耐震管で更新する工事量を勘案し、工事監督できる技術系職員の確保が必要です。	

